

23/1/21 名古屋城市民説明会  
名古屋市民オンブズマンによるメモ

カメラ撮影はご遠慮願います

13:30

司会浅野：はじめる

所長講演 30分

状況説明 30分

休憩

質疑応答 進行にご協力を

午後3時30分ごろ終了予定

資料説明

スクリーン→ウェブにアップする

報道機関、記録撮影行なう

名古屋市説明、質疑録画→ウェブで公開

河村市長から挨拶

河村：ありがとう

どえりゃあぎょうさん たくさんはじめて

名古屋の城 国宝1号 昭和5年→昭和7年 図面を残した  
史実通りに復元できる世界中でただ1つ

74 あの世が近づいてきた

名古屋と言ったら誰に聞いても名古屋城 ほぼ誰に聞いても  
本物で作れる

図面まで残してくれた財産 次の1000年は残したい

戦争で燃えた

家康 NHK 多分家康が作った城 一番上まで上ったのではないか  
もっとしゃべりたいがこの辺で

名古屋の宝を残すのは社会的責務だと思っている

ようお越しいただきサンキューベリーマッチ

浅野：服部所長から講演「名古屋城天守の秘密」

服部：やっとかめだなも

マスクを外す

自己紹介 コンクリート天守たった時小学4年生

8月4日 大阪造幣局 雄雌そろい、天守に取り付けるだけ  
女だからうろこが小さい  
屋上から望遠鏡で見た 白いさらしが巻いてあった  
いとこ 5月14日燃えた記した  
天守3階に上がったことがある 子どもだと足が登らない  
敵機琵琶湖北上中  
45度で焼夷弾が落ちた  
自分の家もあつというまに燃えた 空は真っ暗になった  
練兵場まで300メートル 自転車で転んだ  
熱風 とたんも飛んでくる  
自転車でとたんを防いだ  
お城が長いこと燃えていた 音がした  
防空壕の水 手ぬぐいにつけた  
だれか消しに行くものはいないか  
小学4年 中に入ったらビルだった  
「ちょーらかす」  
外の非常階段を入れずに写真を撮るのは難しい  
好きな清州櫓  
好きな城 犬山城  
熊本城 宇土櫓 天守には入らなかった  
昭和実測図 どんなものかご存じない方も  
ネットで公開している  
下側の紙が昭和実測図を拡大 実物大にしたもの  
紙でつないでいけば元に戻る  
焼損金具集めている 実測図に乗せる ぴったし乗る  
天守は生きていると思った  
こんなことができる城は名古屋城だけ  
内堀発掘調査 釘隠し 葵の紋  
城内には鬼板 金具が残っている  
今後できる天守に一部でも使われると命がつながると思う  
センター いろんな研究をしている  
石垣と天守台  
加藤清正が石垣を作ったと言われる  
ほんの少ししか残っていない 宝暦に積み替え 尾張藩が積んだ  
解体した  
熱田台地が地山  
盛り土をしている

橋台 天守台も盛り土  
穴蔵石垣を築いた 礎石や黄金井戸も  
災害があると盛り土が崩れる  
名古屋城 1年半で天守を築いた  
普通盛り土 1年は置け  
堀の土を掘ってあげる 弱い人工地盤に  
穴蔵発掘調査している  
下にコンクリートが入っている  
空襲の時 地面から下は燃えなかった  
根石と地盤が出てくる  
盛り土 かちんかちん  
白い貝殻が入っている  
すごい細工をしている  
金沢城と熊本城の事例  
金沢城 版築で固い地盤  
熊本城 直角、水平石垣  
金沢城 固めて積み上げる  
どんな地震が来ても動かない  
人工地盤を作っている  
熊本城 ぐり石 縦の石 振動の周波を違うように  
外から見ているとわからない  
たとえ石垣が崩れても礎石は崩れないように  
本丸 福島正則が積んだところが緩んだ  
→内面はついていないから  
たたき土居 石灰を入れた？  
宇土櫓 加藤清正  
伏見城崩れた  
→絶対に崩れない石垣を  
名古屋城 本丸の周りに番号が振ってある  
2番の下には1番がある  
石垣は傾いている  
土圧水圧がかかっても下が斜め 石で抑え込まれる  
外に飛び出すことができない  
根石 胴木で水平に置く  
名古屋城、熊本城はここまで埋めたのだろう  
堀を埋めて地形で完成  
名古屋城の堀 水たたきになっているらしい

はにしらつち＝粘土で敷き詰められている  
絶対に崩れないように配慮していた  
大雨 2か所から水が出ている 天守は安全  
水が出なくなると危険

濁った水は心配

清州櫓＝西北隅櫓

清州城の天守を移したと言われている  
未の九月 元和5年 最後にできた櫓

古文書がない

本当かどうか

志水忠宗 名古屋に移した

何年と書いてない

慶長16年と書いてある

天守がないのに清州城を壊したら無防備

入れてあった武器は置く場所がない

まだ駿府にいる

元和4年が正しい

黒木書院 寛永になって持ってきた

清州城はまだある

廃材利用ではなく、モニュメントとして持ってきた

本丸にある櫓より大きい

内側に千鳥破風

名古屋城11櫓 石落としがある

内側に破風があるのは異例

名古屋城4方

隅櫓

天守は最後 四方に石落とし

モニュメント つけようじゃないか

手すり 四方が見えた

銃弾

腰板

左右対称

駆け足で聞きづらかったかも

いろんな研究成果がある

名古屋城の歴史は書き換えられている

ご清聴ありがとうございます

14:03

浅野：ありがとう

上田所長から説明

上田：名古屋城総合事務所長

整備について

より詳しい資料冊子も

1610年 名古屋城築城

1613年以降、清須から町ごと引っ越し

400年以上尾張名古屋のシンボル

保存活用計画

近世最高水準

260年尾張徳川家の居城

永久保存が決定

戦災で失われたものを復元する方針

石垣 西南隅櫓、東南隅櫓、東二之門、表二之門 重要文化財

ほか焼失した建物の再現を目指したい

世界最大級の高層木造構造物

石垣保存

火災防止 第三者機関の評定を取得する

整備基本計画

2022年6月 文化庁「調査・検討が進捗したと評価」

解体と復元を一体とした全体計画をまとめることが必要

文化庁復元検討委員会で議論が必要

1章～8章までまとめる

有識者会議ではかりながら7章まで取りまとめた

石垣保存方針と基礎構造の方針

穴蔵石垣 根石、背面調査

江戸期の遺構が残っていることを把握

適切な構造を有しておらず、安定的になっていない

修復整備が必要

基礎構造 ご意見を踏まえて第8章にまとめる予定

現天守が存在現状 調査に限界がある

解体後発掘調査して観覧車の安全確保の対策と基礎構造をあらためて検討

バリアフリー MHI 昇降技術

今後の流れ

整備基本計画 今年度中に取りまとめたい

文化庁に来年度出す

復元検討委員会 現状変更許可につながる大きな一歩  
木材保管状況

裏木曾地域から大量の木材を調達した

全国各地から調達 2071本調達した

直射日光を防ぎ、風通しが良い適切な環境で保管中  
機運醸成 理解を深める機会

イベント寄付 金シャチパートナーからの寄付

市としては、今後も文化庁、有識者の指導に基づき適切に対応  
史跡全体の厳格な保存

石垣等遺構に影響を及ぼすことのないように

市民のご理解がもっと深まるようにしたい

市からの説明は終了

14:20

浅野：15分ほどの休憩

閉会までドアを開け換気する

14:38

浅野：質問をいただきたい

15:15ごろまで

動画撮影する

公開希望しない人は係の人へ

センター長への質問は古馬ではご遠慮を

職員

柴田、村木、梅田、荒井、荒川

上田、折戸局長、河村、

竹中

発言は多くの人 1人3分簡潔に

2分30秒 知らせる

考えをまとめて

多くの人 発言していない人

初めて発言する人から マイクをもっていく

春日井：みやち

はじめて参加した

城 好きで城郭研究

名古屋城については詳しくない

屋根瓦 緑色

昭和の再現赤褐色→緑色

慶長期 土瓦→宝暦銅瓦

本丸御殿 こけら葺き 寛永年間

チャン塗するのかどうか

荒川：復元する天守

宝暦大改修後の姿

天守台石垣 宝暦 明かり取窓 2 か所増えた

天守台が宝暦 上も宝暦修理後

屋根の色 2重から4重 土瓦→銅瓦

黒ちゃん 黒い姿だったろう

5重屋根 緑青

エージングは自然に任せたい

有識者の先生 どういう姿がふさわしいか聞く

本丸が寛永期 天守は宝暦

江戸期に戻す もっとも価値が高い姿を復元したい

若干時代の違いは出てしまう

黒ちゃん 成分が分かっていないところも 有識者に諮って考えたい

たかつ：3点聞きたい

1点 天守閣復元 個人的には賛成

江戸城が天守台がある

東京都民 江戸城復元 たってないものを復元

河村市長に頑張ってもらいたい

バリアフリーについては御再考いただきたい

2点 表二の門 残念 古い

表一の門 東南-西南 多門櫓ができたなら顔としてすごいと思う

どう考えるか

文化庁が納得いかないか

そっちを先に進めるのがいいのか

3点 竹中

名古屋市と竹中契約

遅延損害金発生しているのか

今後ともパートナーとやっていくのか

浅野：江戸城 名古屋城ぜひやってほしい

河村：江戸城はがんばって

よそのことを文句いっては

誰に聞いても名古屋のシンボルは名古屋城

せっかく図面を残してくれて、写真もある

本物 1000年は大事にしていこう

「ええもん残してくれた」

文化庁某えらいさん「200-300年で国宝になるのでは」

櫓 寂しいので早く作らないと

荒川：資料5頁 将来図を載せた

表1の門 段階的に復元を進めたい

天守に全力を

荒井：竹中と名古屋市との契約

この事業 基本協定を結んだ

実現するために我々だけのノウハウだけではできない

平成29年5月 基本協定 実現させていく

基本設計、実施設計

6年近くたっているが、石垣、遺構 十分調査して影響がないように進めてきた

予定していたスケジュールでは進められなかった

名古屋市と竹中 どうしていくのか

竹中 ぜひ実現させたいと言っている

協力の中で実施設計、木材製材、石垣調査を一つ一つ進めていく

今のところは損害金はない

できるだけ早く事業を進めたい

今後進めたい

代読：木造復元が進んだのは喜ばしい

アイデア

今のエレベーター 油圧式ジャッキ 上に上る

天守閣側 自動ドアがついて

個室からスロープが伸びる

車いすや高齢者はスロープ

白く漆喰

センサーも目立たないように

個室が付いた油圧式ジャッキ 地面  
みっともない外観ではない  
ニューヨークマンハッタンでも木造計画  
燃えた礎石を別の場所  
その通路 外観は檜 スロープ  
4階5階  
3～5階 間取りが広い  
3～5階 木製スロープを付ける  
火災避難対策にもなる  
新しい技術ができれば取り壊せる  
木製スロープ  
傘をささなくても通れるように  
小天守と本丸御殿をつなぐ橋  
バリアフリー提案をどう思うか  
公募で採用されたものにこだわらないで

浅野：仮説的なもの

梅田：ありがとう

歴史的建造物とバリアフリーの両立 難しい課題  
痛感している  
施行後 先月選定した  
ご意見を賜っている  
今後も広く意見を集めてあり方について十分に検討していく必要がある  
よりよいもの 大事になってくる

浅野：前の方

天白区 木村

1点 40年くらい前 黒沢明「座」スタッフ  
姫路城の中を撮影した  
全部掃除した  
木造、柱、梁  
よく見るとちょんながけがついている  
すごいな  
河村市長 非常に関心をもってきた  
今日姫路の材料と作り方 名古屋城 どういう作りこみになっていたか

荒井：当時、天守が建てられたとき 同時期に西南隅櫓がある  
現存している建物 ちょうなを使っている板材  
徐々にわかってきている  
実際天守どうするか 実物が残っているわけではない  
できるだけ調べて 事実がどうだったか  
道具、技術をもっているか やれるやれない考える  
事実が分かった以上はできるだけやる方向で  
有識者会議で諮っている  
竹中が会社を挙げてやっている  
我々としても  
平成 30 年完成本丸御殿  
職人技術を継承  
建物を残す  
やれることをやる  
事業を早くしたい

浅野：赤い人

○：バリアフリー

お城でエレベーターがあるところはあるのか  
本丸御殿 必要な方 月何名来ているのか  
昇降機 プロジェクターの反対  
毎月メンテナンス 税金かかるのか  
何年かかるのか

浅野：バリアフリー

城でバリアフリーあるのか  
実際何人来ているのか  
メンテナンスが必要

梅田：天守のエレベーター

現存木造はもともとついていない  
鉄骨鉄筋コンクリート 外部エレベーター 大坂城など  
メンテナンス まだ先日提案いただいたばかり  
今までの事例 今後の毎月どれくらい  
現段階では答えられない

現在起こしになられているか

平成30年度調査 統計とった 約1%程度実績  
現天守閣閉館

南区 ●

エレベーター 私は河村市長の考えに近い  
木造で作る 金属エレベーターはそぐわないと考える  
障害、付き添い 生年月日  
動画を作って茶菓子を作ってもてなす  
収まらんと思う  
竹中をお願い  
メンツにかけて名古屋城  
木造上がったから505億円を上げることはやめて  
面目にかかる

浅野：エレベーター、竹中のエール

梅田：現代的技術 難しいところ

開発を含めて公募した  
いろんな意見をいただいている 十分に検討している  
公募で決めたことだけがすべてではない  
VR技術発達してきている

竹中：竹中と名古屋市 基本協定 進めていく

状況は変わることはあるが  
十分話して事業を  
市民に喜ばれるような木造復元

浅野：帽子と前

帽子：バリアフリー

技術の発展 日々進歩  
最優秀案 柱を削ることはないが、構造への影響  
よりよい案 リカバリーは考えられるか  
木材 集約はできている  
全体の何%確保したのか  
大きい材 調達が難しい？

大天守議論 小天守 再建検討どうなっているか

西区：ざっくばらんな質問

市長のスケジュールがあるが、全然見えない  
いろいろ問題点がある  
市長さんの在任中にめどをつけて  
80 近い 死ぬ前に木造復元を見たい  
スピードアップを

浅野：バリアフリー

どうリカバリーするか  
木材  
小天守  
スケジュールを速めて

荒井：バリアフリー 現在の技術を入れる

歴史的建造物への影響 柱を削ると戻らない  
何を考えるか 耐震補強 防災設備 どうしても必要  
国宝、重要文化財 耐震補強どう取り付けるか  
「可逆性」取り付けるが外した時に元に戻る  
そのところ 守らないといけない  
できるだけ追及しながら  
重要視して  
木材 契約柱や梁 径が長くて大きいもの  
平成 30 年 7 月 先に契約  
板材、床板、敷居 まだ契約していない  
調達に難しいものを先行 努力  
材木業者も協力  
柱や梁 2000 立米 そのうち 2000 立米  
木材 4500~4800 立米中 2000 立米調達済み 乾燥をすすめている

荒川：小天守

資料 16 頁 今後の流れ  
先日有識者会議 天守閣部会 当時天守 どんな姿か市長のあいさつ  
昭和実測図 小天守も詳細がある  
古写真、宝暦大修理の記録も残っている  
学術的に分析した結果を先生に見てもらっている

過去の文献資料を基に  
スケジュールが見えない  
16頁 今年度中に整備基本計画をまとめて  
来年度文化庁に持ち込んで、復元検討委員会  
国で特別史跡内で復元 きちんと文化財保護という視点で大丈夫か  
有識者に意見を聞く  
なんとか来年度諮っていただけないか  
終わってきってから許可  
現天守閣解体 工事の着工  
復元検討委員会 われわれが出向いていくわけではない 時間は読めない  
竣工期限を伝えられないのは心苦しい  
なるべく早くやりたい

浅野：多くの人質問 ありがとう  
河村市長から閉会のあいさつ

15:22

河村：ありがとう  
こんなぎょうさんはじめて  
意見も励ましも圧倒的だった  
名古屋の郷土愛を深く感じた  
木で作る 復元 はじめて  
一番太い木 松 樹齢330年  
東北 月山松  
もう1本は台風で倒れた  
地元の人 大変 松くい虫、雷  
竹中 日本では無理  
岩手県奥州市 わしも行ってハグ アイムソーリー アイラブユー  
300年くらいしかもたない  
どえらけにゃーありがたい  
復元 いったん焼けたが本物がある  
イコモスのリーダーが言った  
空襲で焼けなかったとみなす  
世界で初めて  
74 もうすぐあの世に行かないといけない  
頼むで早くやってほしい じいさんばあさん

焼けなかったかのようによみがえる  
ぜひ一つ  
バリアフリーもあるが、もう一つの価値観  
法隆寺も 1000 年  
本物をのこそみゃー  
なんとか生きていうちに味わってもらいたい  
1000 年後の孫が喜ぶ 世界で初めて  
あと 200 年後 国宝になる可能性も  
長い時間ありがとう サンキューベリーマッチ

15:26

浅野：武将隊 名古屋城イベント告知

武将：わしが家康

もっと大きな拍手じゃ  
ありがとさん  
400 年前  
多くの者が集い、大切にはぐくんでいる  
ありがとさん  
名古屋城発信  
来る 28 日 名古屋城シンポ  
知ってるもの 来るもの ありがとさん  
進捗も  
主に名古屋城の魅力を知ってもらおう  
城名人に集まっている  
youtube 小和田殿  
大高の兵糧入れ  
これまでの名古屋城、これからの名古屋城  
異国からグレス・クレン 800 回  
曾祖父が日本を語り、北海道に行った  
愛知県 多くの城  
夢の国 名古屋城  
世界で一番名古屋城に来ている  
これからの名古屋城 話を聞いてみたい  
行きたいと思ったもの 手を上げよ  
大河ドラマ 見てるもの 多い  
見てないもの 全員見てる？

名古屋の街 たくさんでてくる  
桶狭間 緑区 たくさんでてくる  
判断 わが人生が変わる  
人生そのものが道しるべになる  
日の本の成り立ちをなぞりながら進めていく  
わが家臣と一緒に  
名古屋がわが子同然  
ぜひとも家族や友に話をしてほしい  
皆で築いた名古屋城  
わかったものは拍手をいたすのじゃ  
さらばじゃ

浅野：以上で終了

順番に案内する

15：36